

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 41 週（2024/10/7～10/13）感染症発生動向調査速報値（2024/10/16 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**85** 人、定点医療機関当たり **1.81** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

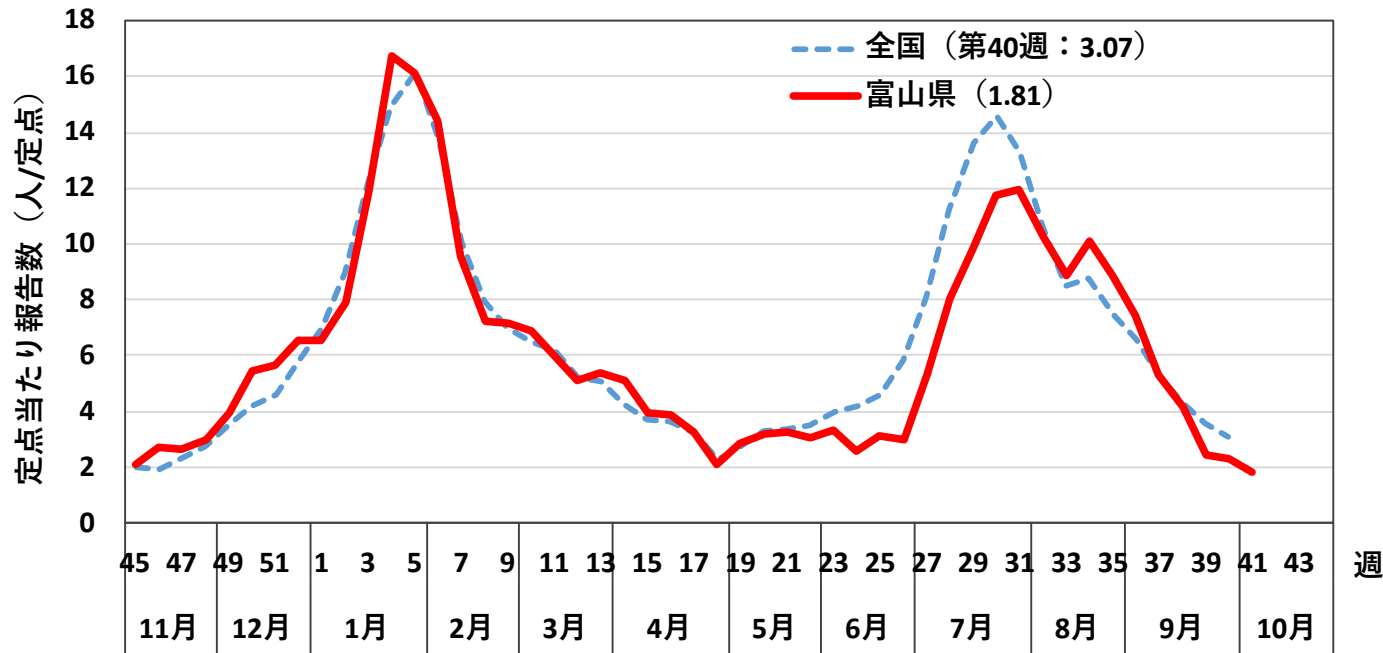
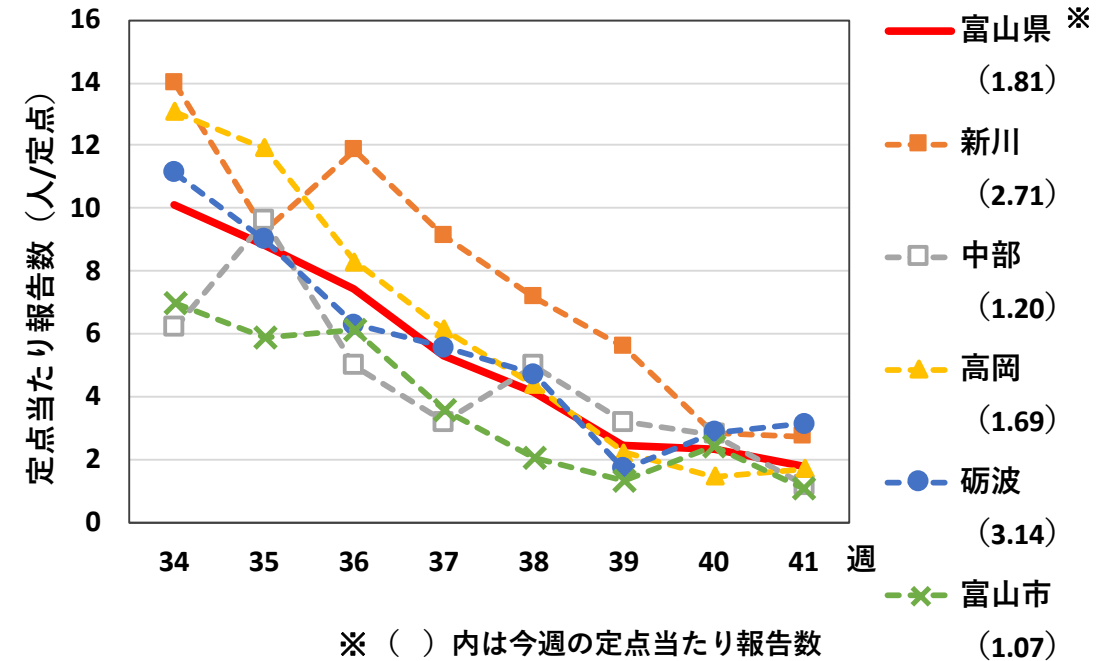


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は1.81人/定点であり、先週（2.32人/定点）から減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、全ての管内で横ばいまたは減少であった（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

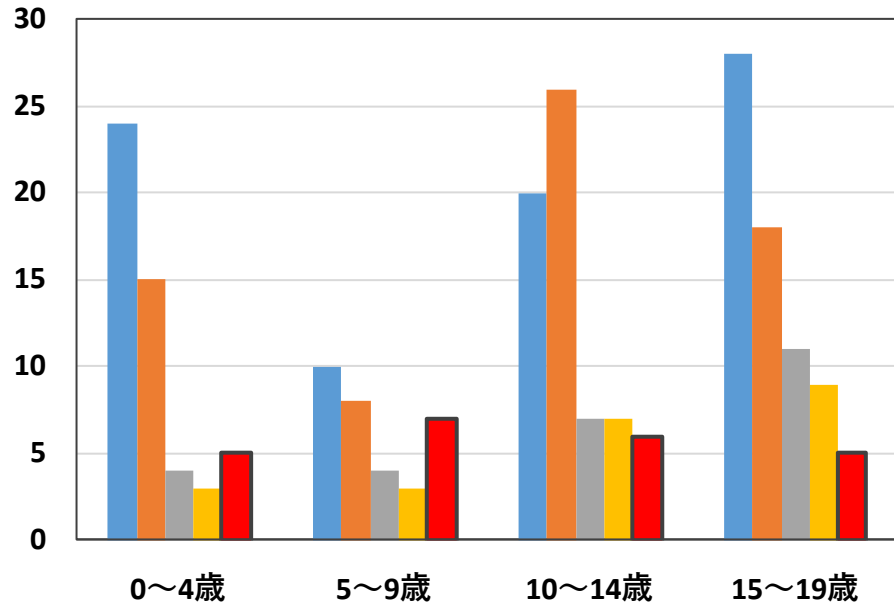
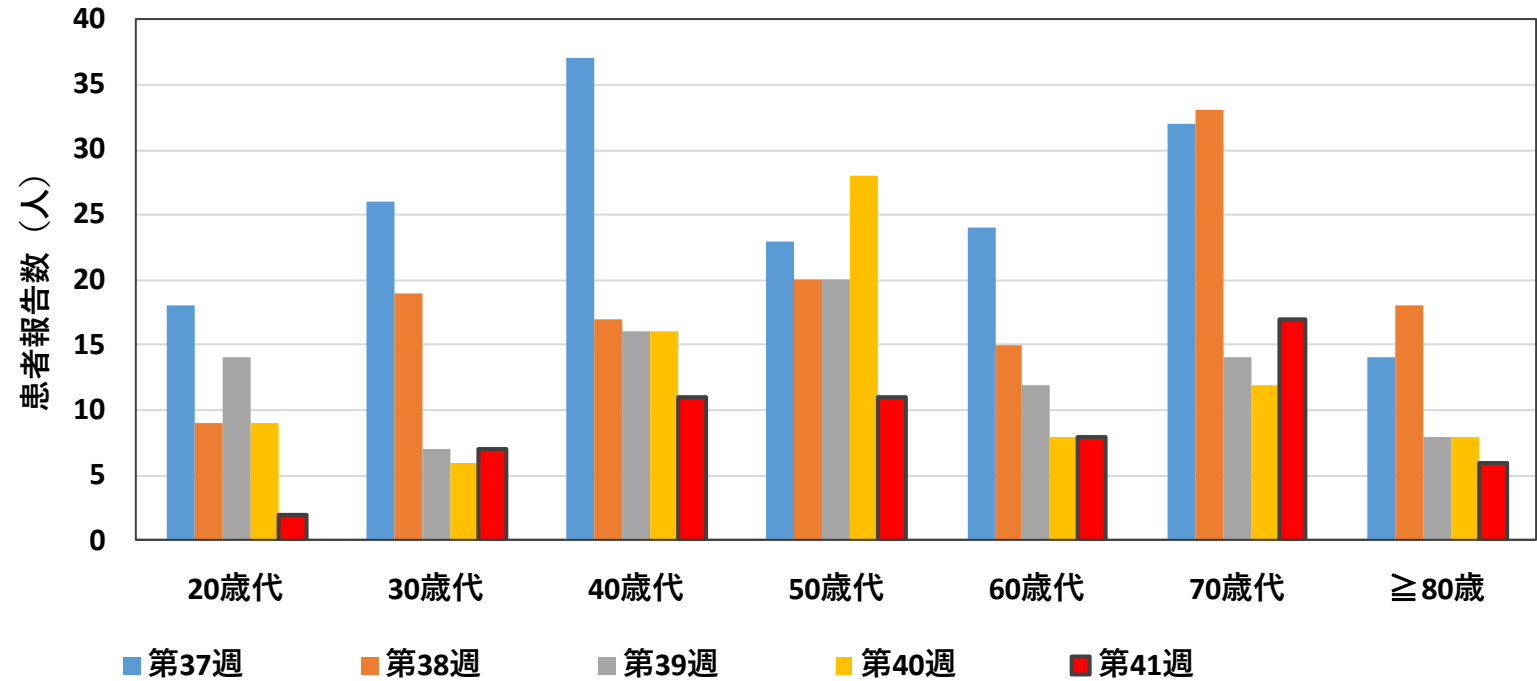


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～9歳、70歳代が先週から増加したが、その他の年齢では減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

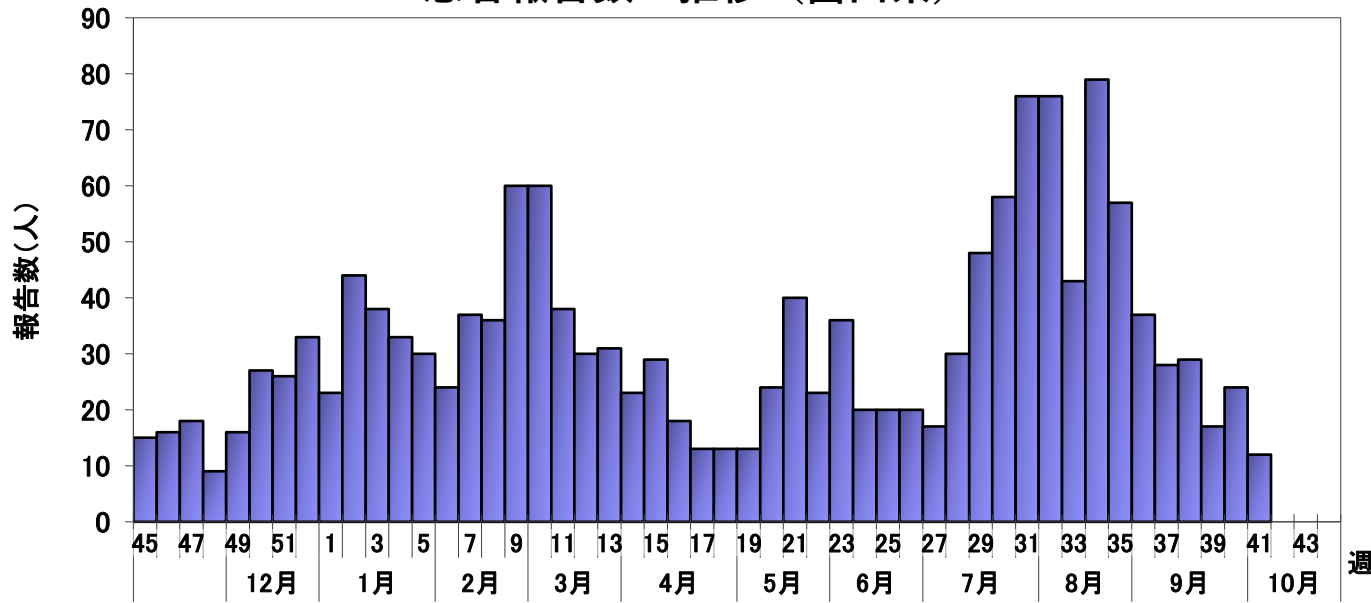
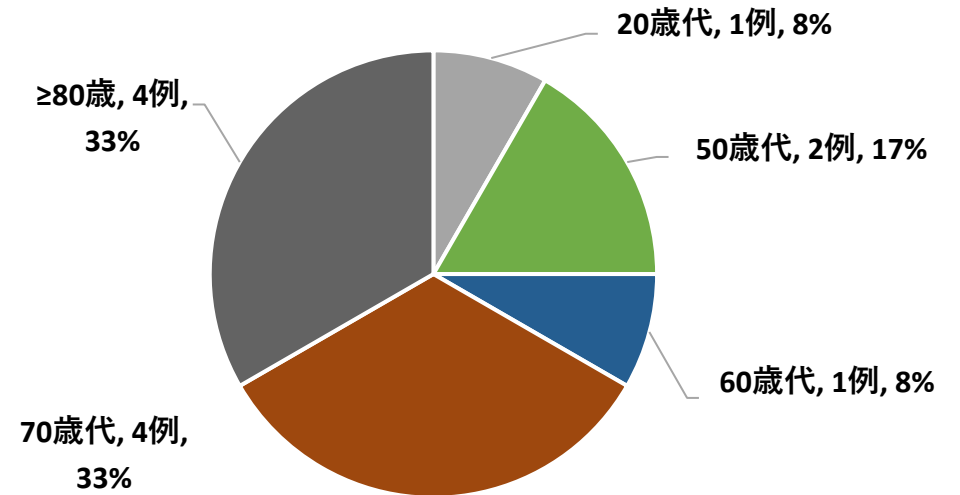


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第41週、12例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第41週に12例の入院報告があり、先週（24例）から減少した（図4）。
- 患者の年代は、20歳代が1例、50歳代が2例、60歳代が1例、70歳代、80歳以上が各4例で、70歳以上が67%を占めた（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第35週以降減少が続いているが、昨シーズンは冬季にかけて報告数が増加しているため、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。